

補助事業番号： 19-36

補助事業名： 平成 19 年度 Web 資源有効活用を推進する情報基盤の標準化調査研究補助事業

補助事業者名： 財団法人 日本規格協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### 1) Web 資源有効活用を推進する情報基盤の標準化調査研究補助事業

Web 資源有効活用を推進する情報基盤の標準化調査研究として、マルチモーダルウェブマイニング技術（ユーザインタフェース・Web データアクセス・マルチモーダルサービスなど）及びアイデンティティ管理技術の標準化調査研究を行い、Web 上での事業運営及び安全性の確保を目指し、わが国の情報社会、中小機械工業の振興に寄与する。

### (2) 実施内容 <http://www.jsa.or.jp/stdz/instac/index.htm>

#### 1) マルチモーダルウェブマイニング技術標準化調査研究委員会

マルチモーダルウェブマイニング技術を取り扱うための文書情報交換に必要な標準化要素について、以下の調査・検討を行った。

##### 1) WG1 (Web サービス)

- a) 次世代 Web のサービスに関して、アーキテクチャ、空間情報サービス、PIM 関連情報とその応用、ネットワークの自動設定の観点から技術動向、市場動向調査を行った。
- b) 交換フォーマットに関して、電子メディアに適した新しい文書スタイルやフォント技術の動向調査、さらに校正概念の整理と Proofreading ML の検討を行った。
- c) e-Book に関して、電子書籍、電子辞書、オーディオブック、教材コンテンツの標準化に関する動向調査を行った。

##### 2) WG2 (Web データアクセス)

- a) 国際規格の進捗 (FCD ベース) に沿って、トピックマップ-4 (正準化)、DSDL-7 (文字レパートリ記述言語) の素案作成を行った。
- b) トピックマップ(TM)、文書スキーマ言語 (DSDL)、XML データベース問合せ言語及び関連規定について国際動向の調査を行った。
- c) スタイル指定言語に関し、W3C の原規定が勧告になったため、TS X 0088 の原案見直し及び用語のゆれ等の洗い出しを行った。また XSL と CSS の整合のための機能比較を行った。

#### 2) アイデンティティ管理技術の標準化調査研究委員会

アイデンティティ管理技術を取り扱うために必要な標準化要素の抽出について、以下の調査・検討を行った。

- 1) アイデンティティ管理技術を取り扱われているアイデンティティに関する調査サービス実装者の観点から調査を行う WG1 (連携基盤の動向と要件) が担当した。アイデンティティ管理に関連する技術として知られていた技術 (60 程度) から、当委員会がアイデンティティ連携に関連して重要と判断する技術を選び、詳細を調査した。
- 2) アイデンティティ管理技術の応用場面で管理が要請されるアイデンティティに関する調査サービス提供者の観点から調査を行う WG2 (最適サービス選択技術) が担当した。ネットワークを使うサービス提供場面から、当委員会がアイデンティティ管理技術の応用場面を設定し、アイデンティティがもつと考えられる属性を検討した。

- 3) アイデンティティとアイデンティティ管理技術との対応  
作業部会（WG1、WG2）間で調査結果を交換するためにアドホック (adhoc) 会議を開催し、応用場面の検討をとおして得られる要件と、アイデンティティ管理技術が扱うアイデンティティとの対応を検討した。

## 2. 予想される事業実施効果

### (1) マルチモーダルウェブマイニング技術の標準化調査研究

さまざまな情報端末を使って、Web に分散している多様な情報形態をもつ各種資源を必要に応じて関連付けながら、目的とする一連の情報を的確に把握するシステム構築が可能となれば、以下の効果が予想される。

- － 企業等がウェブマイニング技術を活用することで、Web 上の活動における様々なマーケティング戦略に役立てることができる。
- － コンテンツが情報機器から独立して流通すれば、多様な情報機器の登場を促し、情報機器の普及を推進する支えになる。

### (2) アイデンティティ管理技術の標準化調査研究

ネットワークを使ったサービスの提供は、社会保障カード（仮称）などの公的分野を含めて社会の様々な分野で検討が進められている。この動きは多様なサービスの効率的提供という社会ニーズを背景としており、近い将来様々なサービスが現れてくると予想される。これにともない、利用者がサービス毎にアイデンティティを使い分ける際の負荷を軽減し、サービス提供者が利用者の要請するサービスを的確に提供することができる仕組みを効率的に実現する課題が起こる。この課題を、標準化という観点から解決する方策を提供するために、本調査研究の成果が寄与することを期待している。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

次の2テーマの成果報告書をPDFファイルに編集し、1枚のCD-ROMに収録いたしました。

作成数は210枚です。

平成19年度（Web資源有効活用を推進する情報基盤の標準化調査研究補助事業）調査研究報告書 CD-ROM集

- ・マルチモーダルウェブマイニング技術の標準化調査研究 成果報告書
- ・アイデンティティ管理技術の標準化調査研究 成果報告書

## 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名称： 財団法人 日本規格協会（ニホンキカクキョウカイ）

住所： 107-8440

東京都港区赤坂4-1-24

代表者名： 会長 佐々木 元（ササキ ハジメ）

担当部署： 情報技術標準化研究センター（ジョウホウギジュツヒョウジュンカケンキョウセンター）

担当者名： 所長 秋間 升（アキマ ノボル）

村石 幸二郎（ムライシ コウジロウ）

電話番号： 03-3592-1408

Fax： 03-3592-1412

URL：<http://www.jsa.or.jp/stdz/instac/index.htm>